

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ハビステ和田		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名 28組	(回答者数) 22件
○従業者評価実施期間	2024年12月 10日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用開始時よりお子さんの発達段階を正確に把握する事(発達評価)が重要であると考えているため、専門機関(病院等)で使用されている評価方法(身体機能テスト・知的機能テスト等)を実施し、妥当性・整合性のあるプログラム提供に努めています。	言語・見る力・身体機能面・社会性などの複数分野での評価を実施し、数値等を元にご家族にお子様のご苦手なところ、得意なところの説明を行っています。	事業所で実施したご利用児に関する評価をご家族の了承を得て、担任の先生や他事業所へ共有したり、教育相談時に当事業所の職員も同席し、児童にとって有効な支援についてお話をさせていただいています。
2	・PT・OT・STの専門職が多数在籍しているため、様々な角度で意見を交わした上で、支援プログラムを作成しております。 ・SNSなどのツールを使用し事業所の見学や面談など、保護者様が相談しやすい環境を作り、情報共有を積極的に行える体制づくりを整えている。	専門職による個別の支援も実施し、集団での活動も専門職の意見を取り入れながら活動を実施しております。また、運動面・言語面だけでなく、社会性を育てていくための活動も積極的に行っています。	・専門職が中心となって研修を実施しております。専門職から他の職員へも研修を実施し、様々な要素を取り入れた活動を実施できるように企業内研修制度を設けています。 ・季節に応じたイベントを活動に取り入れ、季節や行事ごとを体験できるように工夫を行っています。
3	児童の苦手なことをスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動内容を工夫しています。	見る力や聞く力などの認知面、社会性を育むためのソーシャルスキルトレーニングなどを個別課題の中で実施しています。短時間での実施ではありますが、児童の気持ちを共有しながらスモールステップで取り組めるように対応しています。	当事業所で児童が取り組むことができた内容等をご家族にメールにて報告しております。また、ご家庭でも取り組める活動をSNSなどで情報提供したり、ご家族様に対しては面談時にお伝えしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会のように、ご家族が一堂に会してコミュニケーションを取る会の実績がありません。	多地域にわたってご利用をいただいているため、一堂に会す場合も実施場所等で苦慮する部分がありました。	今年度は同一法人内での事業所間交流会を児童のみで実施しました。今後は、保護者様も一緒に参加できるような場を設けていければと考えています。
2	地域交流のためのイベントの実施ができていないこと。また、各マニュアルなどは作成しているが保護者様への周知や提示が不十分であった。	地域の異なる児童が日ごと入れ替わりで通っていることもあり、児童たちと一緒にイベントを準備していくことへの難しさがあります。また、下校時間の違いや活動時間の長時間ではないため、準備時間の確保が難しい状況にあります。	今年度は同一法人内での事業所間交流会(スポーツ大会)を実施しました。しかし、本事業所は地区が違い参加する事が難しかったため、今後は本事業所の地区での開催や児童が地域の方との交流もできるように、地域の施設に出向く活動などを実施していきます。
3	・ペアレントトレーニングとしての家族支援プログラムの研修会の実施が行えていません。 ・避難訓練など非常災害の発生に備えた対策の周知や発信ができていなかった。	個別の面談時に児童の困り感に寄り添えるご家庭でも取り組める内容や声掛け等のアドバイスをしています。個別での対応を行っているため、研修会実施などの大きなイベントは実施ができていない。また、避難訓練などをSNSなどのツールを使用し発信する事ができていなかった。	SNSなどを活用して、ご家庭で取り組める内容等を伝達しております。SNSで取り上げた内容等をまとめて研修会を実施できると良いと考えています。